

会社	会社名	KDDI 株式会社		
概要	従業員数	10,775 人	業種	情報通信業

1. ねらい

従業員自らが考え、仕事とプライベートのマネジメントが実現できるよう業務効率化や労働生産性の向上の取り組みなど、ワークライフマネジメントを推進。また、時間の経過とともに変化するライフステージのなかでもそれぞれの持てる力を十分発揮できるように育児や介護との両立支援制度の充実に向けて、柔軟な働き方を追求。

2. 施策内容

①働き方改革・休み方改革

【長時間労働の改善のための取り組み】

◆全社でのノー残業デー実施

長時間労働の改善策として「ノー残業デー」の促進に注力し、毎週水曜日をノー残業デーと認定。特に第2・3水曜日は強化日として原則、残業を禁止。さらに、ノー残業デーの部門実施率をイントラネットで開示し継続して社内啓発を行う。また、産業医と人事担当者が長時間労働者全員と面談を実施し、健康管理の徹底も図っている。

◆勤務間インターバルの導入

2015年7月1日から、勤務の終了時刻と次の勤務の開始時刻との間に少なくとも8時間の間隔を置く、勤務間インターバル制度を導入。併せて、安全衛生管理上の指標として11時間未満のインターバル回数が月11回以上に該当する場合、面談対象。

②仕事と介護の両立支援

【制度】

◆介護休職、介護休暇、介護短時間勤務、積立休暇の取得、深夜勤務の免除、時間外労働制限、変形労働時間制、等の両立支援に向けた幅広い制度を導入。

◆テレワーク勤務制度（在宅勤務）

育児・介護の支援コースとして、当月所定就業日のうち月8日を固定としてテレワーク勤務するコースと、月1日の出勤日を除いた就業日をテレワーク勤務するコースがあり、柔軟な働き方の実現が可能

【イベント】

◆「仕事と介護の両立講座」実施

2016年2月、ライン長を対象に、介護の基礎知識や両立支援制度を学ぶことで、本人や部下が介護に直面した際に仕事と介護の両立ができるよう支援するための講座を実施。

【社員の意識醸成】

◆「仕事と介護の両立支援ガイドブック」を展開

介護に直面した際将来の蓄えとして利用できる「仕事と介護の両立支援ガイドブック」を社内イントラに掲載。

3. 取組実績・効果

<2015年度実績>

- ・年次有給休暇取得促進：13.2日/年（前年比0.1日/年増）
- ・テレワーク_育児・介護支援コース2015年度取得者：非公開
- ・「仕事と介護の両立講座」参加者：160名超

参加者向けアンケート結果からは、80%以上が『満足』と回答、80%弱が『セミナーを受ける前と受けた後の仕事と介護の両立への考え方に変化があった』、と回答。

- ・2016年3月「なでしこ銘柄」に4年連続で選定
- ・2016年3月「ダイバーシティ経営企業100選」に選定
- ・2016年4月「テレワーク先駆者百選」に選定